

吾田 土地改良区

水土里ネット吾田



土地改良区とは、地域農業を守るため、水田や畑などの農地を整備し、農業用水路等の管理をする「団体」のことです。愛称、水土里ネット。

まちなかの水田を守る

「白地の中の改良区と言うのは珍しいかも知れませんね。」
理事長の山元 陸愛さんは厳しい表情でそう話す。

「白地」とは、土地利用計画の中で、特に農業用の土地の取扱いについて指す用語である。

対象的に“青地”と呼ばれる区域もある。青地が農業振興のために利用され、農地以外の転用が厳しく制限されているのに対し、白地は転用し易い。

そのため、後継者のいない農地はつぶされ、住宅や商業施設になつてしまふのが現状だ。

吾田土地改良区の事務所は、日南市役所や日南駅に近い市の中心部にあり。管内には県内有数の大工場、多数の商業施設や住宅があり、その中に点在する水田の整備や水路の管理を担つ



ている。

農業と住環境の 共存を支える

農業を取り巻く環境は相変わらず厳しい。

若い世代を中心に米離れは依然止まらず、また、郊外の都市化や後継者不足による、農地転用の問題も深刻だ。

だからといって、改良区の果たす役割が軽微かと言えば間違いだ。

「水田が減ると言うことは、遊水池（水を貯め、災害時での過剰な流水を防ぐ場所）が減ると言うことです。そのため、ポイ捨てされたゴミの回収をはじめ、徹底した用水路の管理を行っています。」

用水路はもちろん農地のために利用されるものだ。しかし、それが市街地や住宅地を走る性質上、住環境に与える影響は大きい。

例えば、酒谷川から用水路に流れる水は、水田にたどり着くまでずっと水路を走り続ける。

そのきれいな水が絶えず流れる

(右上)酒谷川の向原頭首工。用水路へ通水するため、3基中2基のゲートを閉じ、その分の水量を水路に流している。(上)住宅の庭先を走る水路。農業用水路が住環境にしっかりとなじんでいる。(中)理事長の山元 陸愛さん。優しい笑顔の中にも、市街区域の改良区としての強い責任を感じられる。(下)環境通水により水量が増加した用水路。この水路が住環境の衛生改善に一役買っている。

もなかでかせる。の鮮やかな色で街の緑が住宅と稲穂が



住民の理解あつての改良区

「我々は、現在、賦課金の未納ゼロを達成しています。これは農家と改良区の信頼関係があつてのことです。」

賦課金とは施設管理に要する改良区の重要な資金であり、農家から徴収するものだ。

他の改良区が賦課金徴収に腐心する中で、未納ゼロを達成しているのは、この改良区が、地域住民と一体になつている証であろう。

吾田土地改良区を見つめることで、農業と都市環境の共存という、将来へのヒントが得られるのかも知れない。

【南那珂農林振興局 農村整備課】

MEMO
吾田
土地改良区

問合せ先
〒887-0027
宮崎県日南市中央通1-213
TEL (0987) 224026